

第27回沖縄夏季交流

文化の違いを学び、平和について考える

4年ぶりの開催 オンラインでスタート

行動経過

- 7月4日(火) 交流団員決定
- 12日(水) 児童保護者説明会
- 25日(火) オンライン事前交流
故郷・学校紹介
自己紹介

◎夏季交流事業 7月28日(金)

- 出発式(役場前)
バス移動↓茨城空港
飛行機移動↓那覇空港
歓迎式・対面式
(大宜味村レジャーセンター)
レクリエーション
(西会津・大宜味×クイズ)
東村つつじエコパーク泊

健康・長寿の取り組みがきっかけで平成6年から始まった沖縄県大宜味村児童との交流事業は、コロナ禍により3年間開催を見送ってききましたが、本年度は、希望があつた西会津町の小学6年生10名が参加し7月28日から31日までの3泊4日の日程で実施しました。

今回は、大宜味村児童との事前交流として、7月25日にオンラインでふるさと紹介・学校紹介及び自己紹介を行いました。



児童たちは2つのグループに分かれて、それぞれに西会津町の魅力や小学校の活動について写真を用いて紹介した後、一人一人自己紹介を行いました。初めて

顔を見て話す友達を前に少し緊張した様子で、名前や好きな食べ物などについて画面越しに話しました。それを聞いている児童たちは、会ったら聞いてみたいことなどを小声で話し合うなど、お互いに興味を持つことができました。

出会い 大宜味村児童と絆深める

28日町役場前で行われた出発式では、橋本悠さんが「沖縄の文化や歴史について学んできたんです」と抱負を述べました。その後、11時間をかけて大宜味村に到着し、友寄景善村長をはじめ、大宜味村児童や保護者の皆さんの歓迎を受けました。歓迎式と対面式では、



歓迎式で大宜味村の皆さんと記念撮影

町の参加児童を代表し、佐藤友愛さんが「沖縄の自然は西会津町とはどう違うのか。食べ物はどんな物があるのか学びたいです」とあいさつしました。

1日目は大宜味村の隣にある、東村キャンプ施設のバンガローに両町村の児童と引率者全員が宿泊しました。夕食後のレクリエーションではそれぞれの町村について〇×クイズを出し合い、盛り上がりました。



ヤンバルクイナの「クー太」

2日目の午前は「生態展示学習施設クイナの森」「ウフギー自然館」の2つの施設を巡り、沖縄本島北部のヤンバル※2地域にのみ生息する固有種「ヤンバルクイナ」や、2021年に世界自然遺産に認定された「ヤンバル」の自然形態について学習しました。

29日(土)

- 生態展示学習施設クイナの森
ウフギー自然館
大宜味小学校見学
マリントイレ体験(バナナボート体験)
ダンボールハウス作成
大宜味村農村環境改善センター泊

30日(日)

- お別れ式
(農村環境改善センター)
美ら海水族館
那覇国際通り散策
那覇市内ホテル泊

31日(月)

- 沖縄県南部戦跡めぐり
平和祈念公園
ひめゆりの塔・資料館
飛行機移動↓茨城空港
バス移動↓西会津町役場
解団式(役場前)



午後は大宜味村交流団長大宜味小学校平良智校長先生の案内で大宜味小学校を見学し、沖縄県の小中学校で一番大きい体育館に驚いていました。

海岸に移動した児童たちは海水浴やバナナボートなどのマリントイレを満喫しました。夕食のバーベキューの際には、青年団によるエイサーが披露されました。

その後、バンガローでの宿泊やマリントイレでイチヤリパチヨーデー(一度会ったら皆兄弟)となった児童たちは、大宜味村農村環境改善センターホールで寝泊まりするため、協力し合いながらダンボールハウス作りを行いました。

西会津での 再会を約束して

3日目は8時からお別れ式が行われ、西会津町交流団長五十嵐正彦教育長が「保護者の皆様も含め大変お世話になりました。この交流は児童たちにとって知見を広め、心の成長に資するものとなりました」と述べ、児童を代表し、五寧大陽さんが「2月には雪がたくさんある西会津で待っています」とあいさつしました。

大宜味村を後にした交流団は年間入場者数日本一の美ら海水族館を見学し、那覇市内国際通りを散策しました。



ダンボールのでっかいハウスを作るぞ!

最終日は平和について学習するため、南部戦跡を巡りました。

平和祈念公園では「平和の礎」に刻まれた全戦没者の氏名について、「平和の火」では灯について説明を受けました。また、「ひめゆりの塔」では慰霊碑に献花を行い「ひめゆり平和祈念資料館」では学徒の遺品や写真、生存者の証言映像から戦争の悲惨さや平和の大切さを感じていました。

参加した児童たちは豊かな人間性を育み、異文化に対する理解と平和の大切さなどを学び、ひと回り成長したようでした。

※1「大木」を意味する言葉
※2沖縄県北部の豊かな森
林が広がる地域



西中町民図書館 新刊オススメ本



『世界で最後の花』
[ジェームズ・サーバ 作]
[村上春樹 訳]
ポプラ社

第十二次世界大戦が起きた世界。文明は破壊され、町も都市も、森も林も消え去り、残された人間たちは、ただそのへんにぼんやり座りこむだけになってしまいます。ある日、ひとりの若い娘が最後の花を見つけ、若者ととともにその花に養分を与えると、花は元気を取り戻します。やがて花は増え、地上に森が戻ってきますが……。
第二次世界大戦開戦時(1939年)に描かれ、世界で読み継がれてきたロングセラーを村上春樹の新訳で復刊した作品です。ロシアによるウクライナ侵攻が解決しない今、この本を読んで平和と戦争について改めて考えてみてください。



『なるほど! ChatGPT活用術』
[マイカ 著]
技術評論社

『女性に不足しがちな栄養がしっかりとれる最強の献立レシピBOOK』
[廣田孝子 監修]
朝日新聞出版



『朝星夜星』
[朝井まかて 著]
PHP研究所

『カンヴァスの恋人たち』
[一色さゆり 著]
小学館



町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

今月は、佐藤悦美さん(出ヶ原)の作品です。

作品介绍

常にそばに置いて、見られる、使えるものを作ってみました。

① 衝立

桐板を2枚合わせて衝立にし、和紙を3枚重ねて貼り、出ヶ原の全景と円満寺観音堂の写真を印刷しました。縁取りにチリ入り和紙を貼ってみました。



② ティッシュケース

市販のティッシュケースに和紙を重ねて貼り、取り出し口の周囲にチリ入り和紙を貼ってアクセントを付けてみました。



和紙の魅力である優しさと温かみを感じられる作品を考えてみたいです。

新郷地区、4年ぶりに体育祭を開催

8月27日(日)、第55回新郷地区町民体育祭を新郷体育館で開催しました。競技種目に「ボッチャ」を新たに加え、参加した5チーム約200人が6種目で競い合いました。

連日、熱中症警戒アラートが発令され、他の地区は開催を見送るなか、新郷地区は比較的涼しい体育館を会場として、競技の合間に休憩を入れ、水分補給をするなど熱中症対策をして競技を行いました。

競技やチーム応援など、4年ぶりの開催に参加者は盛り上がりました。



新競技 ボッチャ



狙いを定めて「輪投げ競争」



選手宣誓・豊洲Bチーム



とにかく玉数を「荒稼ぎ玉入れ合戦」



どれが当たりかな? 「宝さがし」



慎重に急いで「縄ないリレー」

【結果】

◎優勝
豊洲Aチーム

準優勝
富士Bチーム

3位
豊洲Bチーム

自然探勝講座で 桧原湖畔を散策



▲もりの案内人から草木の説明を受ける受講生



▲裏磐梯サイトステーションで記念撮影

8月29日に自然探勝講座を開催し、桧原湖畔の探勝路を散策しました。

当日は受講生11人が参加し、まず裏磐梯高原駅で開講式を行いました。その後、長峯舟付から探勝路に入り、もりの案内人2名に現地に生息している草木の説明をしてもらいながら自然の中を散策しました。

裏磐梯サイトステーションへ到着後、参加した全員で写真を撮影し、現地を後にしました。